

***** The Future We Want

Name : 渡邊 莉乃 Age : 11 Date : 5月28日

私は、地球を救いたい。自分の将来、未来の子供達、そして他の生物のために本当の地球にもどしていきたい。今、自分の時代に出来ることを決してあきらめることなく、私は、行動していきたいと思う。

今、多くの生物たちが絶滅している。地球上の大家族の一員である生物たちが絶滅していくところを見たくない。でも、現在の地球は、生きていくにはとても住みにくく場所になってしまった。そして、それることは私達人間も感じているはずである。しかし、その住みにくくなった地球にしたのは、私達人間が、自然を破壊してしまったからだ。

自然に生かされていることを、私達は忘れてしまったのかかもしれない。私達は、直物の光合成によつて、酸素を供給されている。それから、自然の姿を見たり、感じたりすること、心をいやしてもらい、楽しませてもらっている。そんな自然に生かされているから、もっと自然に感謝しなければならないのに、私たちは危害を加える一方だ。何んて危害を加えてしまうのか。この場では反げきをしてこないから？文句を言わないから？弱い者いじめと

★★★★★★★★★★★★★★★★★★ The Future We Want

同じだったと思う。私は、自然に申しわけない気持ちで“いっはいた”。

私の住む日本は、水を安いして飲める。これは、衛生施設やタムの数が多く整っているからである。これは、日本が豊かだから施設を整えることができているのだ。

日本をはじめ、工業の発展で豊かになった国々がある。ただ、豊かになった国々では、工場からは煙とたくさん出し、車は排気ガスを出し、フロンガスを放出してしまった。この傷の一つであるオゾン層は、今の技術では、直すことは出来ない。このようになってしまったせいで、世界の人々に迷路をかけることになった。

今まで人間は世の中を便利にしたいという気持ちいい、はいたたから、自然を守ることには手回らなかつたのかもしれない。また、恵まれた生活をしても、さらに物にこだわる人間の欲深さが自然を守ることをあくらせ、自然を破壊し続けることになったのだ」と思う。地球上の恵まれない人々、生物たちに私達は本当なら、この幸せと、豊かさを分けあけなければいけないわけない。これはもと、私達が欲の深い

★★★★★★★★★★★★★★★★★★ The Future We Want

生活に慣れてしまい、本当に必要な最低限の生活にもどれなくなってしまったからだ"と思う。また、何に關しても、勝ち負けを付けることを決めてしまったことも貧富の差を作ってしまった原因だ"と思う。

この先の子孫は、現在の時代を学ぶ時、便利なものかたくさん発明されたと学ぶのだ"うか。私はそういうと思う。この時代に多くの生物が絶滅し、自然が破壊されたと学ぶことになるのだ"と思う。また、その子孫たちは、現在の時代にどのような感想を持つのだ"うか。決して良い返事は聞けないと思う。私は変えたい。変えたいと思っている人が世界に多くいることを信じている。今の地球は、私の望む地球ではない。

私は、欲を満たせる世界より、自然を守り、さらに自然を取りもどす社会をつくることを望む。のために、私が出来る節電、节水、物を大切に長く使い続けるといった小さなことから、はじめていきたい。私は、そんな行動が出来る人になりたいと思う。そして、世界の多くの小さな行動が大きな力になることを信じている。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★ The Future We Want

「リオ+20」は今の地球を見直すチャンスだ"と思う。この「リオ+20」は、これから地球をどうのようにな
えていくかと、話し合う場だ"と思う。私は、
この話し合いで決まりに少しでも協力して
いきたい。

今の自然是、私達人間によて破壊され続けて
いる。また、私の考える地球は、どこも便利で豊か
だが、自然と人間がうまく共存しきけるような
地球だ"。だから、地球上の自然をみんなで"取り
もどし、守り続けていきたい。

私の話を聞いて下さったありがとうございました。